

令和3年度 鹿児島大学2次試験前期日程(数学問題)
理・工・医・歯・農・水産・共同獣医・教育学部
令和3年2月25日

- 理[数理・物理・地環]・工・医[医]・歯学部 ① ② ⑥ ⑦ 必答,
③ ④ ⑤ から1問選択. 数I・II・III・A・B(120分)
- 理[生命化]・農・水産・共同獣医学部 ① ② 必答,
③ ④ ⑤ から1問選択. 数I・II・A・B(90分)
- 教育[数学・理科・技術・教育・心理・家政・国語・社会・英語・特別支援教育・健康教育]学部 ① 必答, ③ ④ ⑤ から1問選択, ② ⑧ から1問選択. 数I・II・A・Bまたは数I・III・A・B(90分)

① 次の各問いに答えよ.

- (1) p, q を実数とする. 2次方程式 $x^2 + px + q = 0$ が異なる解 α, β をもつとき, $\frac{\alpha^4 - \beta^4}{\alpha - \beta}$ を p, q を用いて表せ.
- (2) 斜辺の長さが一定の直角三角形のうち, 面積が最大のものは, 直角二等辺三角形であることを示せ.
- (3) $\sin 1, \sin 2, \sin 3, \cos 1$ という4つの数値を小さい方から順に並べよ. ただし, 1, 2, 3は, それぞれ1ラジアン, 2ラジアン, 3ラジアンを表す.

② $0 < a < 1$ とする. このとき, 次の関数 $f(x)$ を考える.

$$f(x) = x^3 + 3(\log_{\frac{1}{4}} \sqrt{a} + \log_{\frac{1}{8}} 4)x^2 - 4(\log_{\frac{1}{4}} a)x - 4(\log_{\frac{1}{4}} \sqrt{a})^3$$

- (1) $b = \log_{\frac{1}{4}} a$ とおく. 関数 $f(x)$ を, 対数が現れない形で, b を用いて表せ.
- (2) $f'(x) = 0$ となる x を求めよ.
- (3) $f(x)$ の極大値が $\frac{9}{2}$ であるとする. このとき, a の値を求めよ.

3 次の条件によって定められる数列 $\{a_n\}$ がある.

$$a_1 = 2, \quad (n+1)a_{n+1} = (n+3)a_n + 2 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

- (1) $b_n = \frac{a_n}{(n+2)(n+1)}$ とするとき, $b_{n+1} - b_n$ を n を用いて表せ.
 (2) 次の等式が k についての恒等式となるように, 定数 p の値を定めよ.

$$\frac{1}{(k+3)(k+2)(k+1)} = \frac{1}{p} \left\{ \frac{1}{(k+2)(k+1)} - \frac{1}{(k+3)(k+2)} \right\}$$

- (3) 数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ.

4 平面上の三角形 ABC は $\angle BAC = 60^\circ$ の三角形で, $AB = 5$, $AC = 8$ とする. $\angle BAC$ の二等分線と辺 BC の交点を D とし, $\angle ABC$ の二等分線と辺 AC の交点を E とする.

- (1) 辺 BC の長さを求めよ.
 (2) \overrightarrow{AD} , \overrightarrow{BE} を \overrightarrow{AB} と \overrightarrow{AC} を用いて表せ.
 (3) 線分 AD と線分 BE の交点を I とするとき, \overrightarrow{AI} を \overrightarrow{AB} と \overrightarrow{AC} を用いて表せ.

5 1, 2, 3, 4, 5, 6 の数字が 1 つずつ記入された 6 枚のカードを袋の中に入れる. この袋の中から 2 枚のカードを同時に抜き出し, それらのカードの数の大きい方を X , 小さい方を Y とする.

- (1) 確率変数 X の期待値 $E(X)$ を求めよ.
 (2) 確率変数 X と Y は互いに独立であるか, 独立でないか, 答えよ.
 (3) 確率変数 XY の期待値 $E(XY)$ を求めよ.

6 実数全体で微分可能な関数 $f(x)$ が

$$f(x) = e^{-x} \left(\frac{1}{2}x^2 + \int_0^x e^t f(t) dt \right)$$

を満たすとする. ただし, e は自然対数の底とし, 以下では, $\lim_{x \rightarrow \infty} x e^{-x} = 0$ を用いてよいものとする.

- (1) $f(x)$ の導関数 $f'(x)$ を求めよ. また, $f(x)$ を求めよ.
 (2) $f(x)$ の増減, 極値, グラフの凹凸および変曲点を調べて, グラフの概形をかけ.
 (3) $a > 0$ とする. 曲線 $y = f(x)$ と直線 $y = 1$, $x = 0$ および $x = a$ で囲まれた部分の面積 $S(a)$ を求めよ. また, $\lim_{a \rightarrow \infty} S(a)$ を求めよ.

- 7 α は複素数, A は実数で $|\alpha|^2 - A > 0$ を満たすものとする. 複素数 z に関する方程式

$$|z|^2 + \bar{\alpha}z + \alpha\bar{z} + A = 0$$

を (★) とする. ただし, $\bar{\alpha}$, \bar{z} はそれぞれ α , z の共役複素数とする.

- (1) (★) は円を表す方程式であることを示せ. また, この円の中心および半径を α と A を用いて表せ.
- (2) 複素数平面上の 0 でない異なる 2 点 z_1, z_2 が $z_1\bar{z}_2 - \bar{z}_1z_2 = 0$ を満たすならば, 3 点 $0, z_1, z_2$ は同一直線上にあることを示せ. ただし, \bar{z}_1, \bar{z}_2 はそれぞれ z_1, z_2 の共役複素数とする.
- (3) 複素数平面上の異なる 3 点 $0, z_1, z_2$ は同一直線上にないものとする. 3 点 $0, z_1, z_2$ を通る円が (★) で表されるとき, A の値を求め, さらに α を z_1 と z_2 を用いて表せ.

- 8 曲線 $y = \tan x$ ($0 \leq x < \frac{\pi}{2}$) を C とする.

また, C 上の点 $P\left(\frac{\pi}{3}, \sqrt{3}\right)$ における法線を n とする.

- (1) 法線 n の方程式を求めよ.
- (2) 曲線 C , 法線 n および y 軸で囲まれた部分の面積を求めよ.

解答例

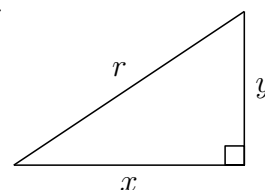
- 1 (1) 2次方程式 $x^2 + px + q = 0$ の解 α, β ($\alpha \neq \beta$) と係数の関係により

$$\alpha + \beta = -p, \quad \alpha\beta = q$$

$$\begin{aligned} \text{したがって} \quad \frac{\alpha^4 - \beta^4}{\alpha - \beta} &= \frac{(\alpha^2 - \beta^2)(\alpha^2 + \beta^2)}{\alpha - \beta} \\ &= (\alpha + \beta)\{(\alpha + \beta)^2 - 2\alpha\beta\} \\ &= -p\{(-p)^2 - 2q\} = -p^3 + 2pq \end{aligned}$$

- (2) 直角をはさむ2辺の長さを x, y , 斜辺を r とすると

$$\begin{aligned} \frac{1}{2}xy &= \frac{1}{4}\{x^2 + y^2 - (x - y)^2\} \\ &= \frac{1}{4}r^2 - \frac{1}{4}(x - y)^2 \end{aligned}$$



r は定数であるから、三角形の面積 $\frac{1}{2}xy$ は、 $x = y$ のとき最大となる。

よって、斜辺の長さが一定の直角三角形のうち、面積が最大のものは、直角二等辺三角形である。

- (3) $\sin 2 = \sin(\pi - 2)$, $\sin 3 = \sin(\pi - 3)$, $\cos 1 = \sin\left(\frac{\pi}{2} - 1\right)$ について

$$\begin{aligned} \pi - 3 &> 0, \quad \left(\frac{\pi}{2} - 1\right) - (\pi - 3) = \frac{4 - \pi}{2} > 0, \\ 1 - \left(\frac{\pi}{2} - 1\right) &= \frac{4 - \pi}{2} > 0, \quad (\pi - 2) - 1 = \pi - 3 > 0, \\ \frac{\pi}{2} - (\pi - 2) &= \frac{4 - \pi}{2} > 0 \end{aligned}$$

$$\text{ゆえに} \quad 0 < \pi - 3 < \frac{\pi}{2} - 1 < 1 < \pi - 2 < \frac{\pi}{2}$$

$$\text{したがって} \quad \sin(\pi - 3) < \sin\left(\frac{\pi}{2} - 1\right) < \sin 1 < \sin(\pi - 2)$$

$$\text{よって} \quad \sin 3 < \cos 1 < \sin 1 < \sin 2$$



2 (1) $f(x) = x^3 + 3(\log_{\frac{1}{4}} \sqrt{a} + \log_{\frac{1}{8}} 4)x^2 - 4(\log_{\frac{1}{4}} a)x - 4(\log_{\frac{1}{4}} \sqrt{a})^3$

$$b = \log_{\frac{1}{4}} a \text{ より } \log_{\frac{1}{4}} \sqrt{a} = \frac{b}{2}, \log_{\frac{1}{8}} 4 = \frac{\log_2 4}{\log_2 \frac{1}{8}} = \frac{2}{-3}$$

$$\begin{aligned} \text{したがって } f(x) &= x^3 + 3\left(\frac{b}{2} - \frac{2}{3}\right)x^2 - 4bx - 4\left(\frac{b}{2}\right)^3 \\ &= x^3 + \left(\frac{3}{2}b - 2\right)x^2 - 4bx - \frac{b^3}{2} \end{aligned}$$

(2) (1)の結果から $f'(x) = 3x^2 + (3b - 4)x - 4b$
 $= (3x - 4)(x + b)$

$$f'(x) = 0 \text{ を解くと } x = \frac{4}{3}, -b$$

(3) $0 < a < 1$ より, $b = \log_{\frac{1}{4}} a > 0$ であるから

x	\cdots	$-b$	\cdots	$\frac{4}{3}$	\cdots
$f'(x)$	$+$	0	$-$	0	$+$
$f(x)$	\nearrow	極大	\searrow	極小	\nearrow

$$\text{極大値が } \frac{9}{2} \text{ であるから } f(-b) = 2b^2 = \frac{9}{2}$$

$$b > 0 \text{ に注意して } b = \frac{3}{2} \text{ これを } b = \log_{\frac{1}{4}} a \text{ に代入して}$$

$$\log_{\frac{1}{4}} a = \frac{3}{2} \text{ ゆえに } a = \left(\frac{1}{4}\right)^{\frac{3}{2}} = \frac{1}{8}$$



3 (1) 与えられた漸化式から $(n+1)a_{n+1} - (n+3)a_n = 2$

上式の両辺を $(n+3)(n+2)(n+1)$ で割ると

$$\frac{a_{n+1}}{(n+3)(n+2)} - \frac{a_n}{(n+2)(n+1)} = \frac{2}{(n+3)(n+2)(n+1)}$$

$$b_n = \frac{a_n}{(n+2)(n+1)} \text{ より } \quad \mathbf{b_{n+1} - b_n = \frac{2}{(n+3)(n+2)(n+1)}}$$

$$\begin{aligned} (2) \quad \frac{1}{(k+3)(k+2)(k+1)} &= \frac{1}{2} \left\{ \frac{(k+3) - (k+1)}{(k+3)(k+2)(k+1)} \right\} \\ &= \frac{1}{2} \left\{ \frac{1}{(k+2)(k+1)} - \frac{1}{(k+3)(k+2)} \right\} \end{aligned}$$

よって $\mathbf{p = 2}$

(3) (2) の結果から

$$\frac{2}{(k+3)(k+2)(k+1)} = \frac{1}{(k+2)(k+1)} - \frac{1}{(k+3)(k+2)}$$

上式と (1) の結果により

$$b_{k+1} - b_k = \frac{1}{(k+2)(k+1)} - \frac{1}{(k+3)(k+2)}$$

$$b_1 = \frac{a_1}{3 \cdot 2} = \frac{2}{3 \cdot 2} = \frac{1}{3} \text{ により, } n > 1 \text{ のとき}$$

$$\sum_{k=1}^{n-1} (b_{k+1} - b_k) = \sum_{k=1}^{n-1} \left\{ \frac{1}{(k+2)(k+1)} - \frac{1}{(k+3)(k+2)} \right\}$$

$$\text{ゆえに } b_n - \frac{1}{3} = \frac{1}{6} - \frac{1}{(n+2)(n+1)}$$

$$b_n = \frac{n(n+3)}{2(n+2)(n+1)}$$

上式は, $n = 1$ のときも成立するから

$$\frac{a_n}{(n+2)(n+1)} = \frac{n(n+3)}{2(n+2)(n+1)} \quad \text{よって } \mathbf{a_n = \frac{n(n+3)}{2}}$$

■

- 4 (1) $b = 8$, $c = 5$, $A = 60^\circ$ を余弦定理に適用すると

$$\begin{aligned} a^2 &= b^2 + c^2 - 2bc \cos A \\ &= 8^2 + 5^2 - 2 \cdot 8 \cdot 5 \cos 60^\circ = 49 \end{aligned}$$

$a = BC > 0$ であるから $BC = 7$

- (2) AD は $\angle BAC$ を二等分線であるから

$$BD : DC = 5 : 8$$

$$\text{よって } \vec{AD} = \frac{8}{13} \vec{AB} + \frac{5}{13} \vec{AC}$$

BE は $\angle ABC$ の二等分線であるから

$$AE : EC = 5 : 7$$

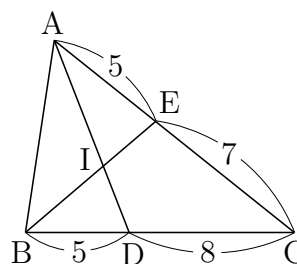
$$\text{よって } \vec{BE} = \vec{BA} + \vec{AE} = -\vec{AB} + \frac{5}{12} \vec{AC}$$

- (3) $\triangle ADC$ と直線 BE についてメネラウスの定理を適用すると

$$\frac{AI}{ID} \cdot \frac{DB}{BC} \cdot \frac{CE}{EA} = 1 \quad \text{ゆえに} \quad \frac{AI}{ID} \cdot \frac{5}{13} \cdot \frac{7}{5} = 1$$

したがって $AI : ID = 13 : 7$

$$\text{よって } \vec{AI} = \frac{13}{20} \vec{AD} = \frac{13}{20} \cdot \frac{8\vec{AB} + 5\vec{AC}}{13} = \frac{2}{5} \vec{AB} + \frac{1}{4} \vec{AC}$$



5 (1) $P(X = k) = \frac{k-1}{{}_6C_2} = \frac{k-1}{15}$ ($1 \leq k \leq 6$) より, 求める期待値は

$$\begin{aligned} E(X) &= \sum_{k=1}^6 kP(X = k) = \frac{1}{15} \sum_{k=1}^6 k(k-1) \\ &= \frac{1}{45} \sum_{k=1}^6 \{(k-1)k(k+1) - (k-2)(k-1)k\} = \frac{5 \cdot 6 \cdot 7}{45} = \frac{14}{3} \end{aligned}$$

(2) $P(Y = j) = \frac{6-j}{15}$, $P(X = k, Y = j) = \begin{cases} \frac{1}{15} & (k > j) \\ 0 & (k \leq j) \end{cases}$ ($1 \leq j, k \leq 6$)

$1 < k \leq j < 6$ とすると

$$P(X = k)P(Y = j) > 0, \quad P(X = k, Y = j) = 0$$

ゆえに $P(X = k)P(Y = j) \neq P(X = k, Y = j)$

よって 確率変数 X と Y は互いに独立ではない。

(3) 確率変数 XY の期待値は

$$\begin{aligned} E(XY) &= \sum_{1 \leq j, k \leq 6} P(X = k, Y = j)jk = \sum_{1 \leq j < k \leq 6} \frac{1}{15}jk \\ &= \frac{1}{15} \cdot \frac{1}{2} \{(1+2+\cdots+6)^2 - (1^2+2^2+\cdots+6^2)\} \\ &= \frac{1}{30}(21^2 - 91) = \frac{35}{3} \end{aligned}$$



6 (1) (*) $f(x) = \frac{1}{2}x^2e^{-x} + e^{-x} \int_0^x e^t f(t) dt$ を微分すると

$$f'(x) = xe^{-x} - \frac{1}{2}x^2e^{-x} - e^{-x} \int_0^x e^t f(t) dt + f(x)$$

(*) を上式に代入して整理すると $f'(x) = xe^{-x}$

(*) に $x=0$ を代入すると $f(0) = 0$

$$f(x) = \int f'(x) dx = \int xe^{-x} dx = -(x+1)e^{-x} + C \quad (C \text{ は積分定数})$$

したがって $f(0) = -1 + C = 0$ すなわち $C = 1$

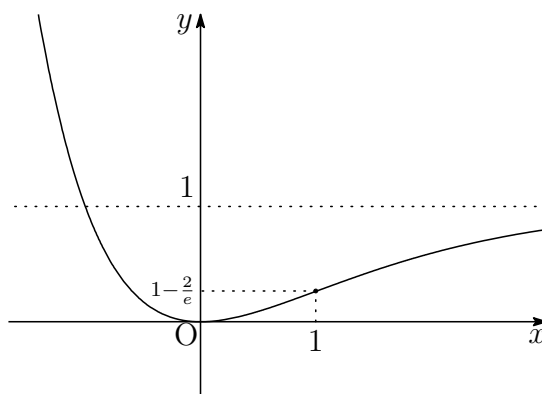
よって $f(x) = -(x+1)e^{-x} + 1$

(2) $f'(x)$ を微分して $f''(x) = (1-x)e^{-x}$

x	...	0	...	1	...
$f'(x)$	-	0	+	+	+
$f''(x)$	+	+	+	0	-
$f(x)$	↘	0	↗	$1 - \frac{2}{e}$	↗

したがって 極小値 $f(0) = 0$, 変曲点 $\left(1, 1 - \frac{2}{e}\right)$

(**) $\lim_{x \rightarrow -\infty} xe^{-x} = 0$ より $\lim_{x \rightarrow -\infty} f(x) = \infty$, $\lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = 1$



(3) よって $S(a) = \int_0^a \{1 - f(x)\} dx = \int_0^a (x+1)e^{-x} dx$
 $= - \left[(x+2)e^{-x} \right]_0^a = 2 - (a+2)e^{-a}$

また, (**) より $\lim_{a \rightarrow \infty} S(a) = 2$ ■

- 7 (1) $|z|^2 + \bar{\alpha}z + \alpha\bar{z} + A = 0$ より (A は実数)

$$|z + \alpha|^2 = |\alpha|^2 - A$$

よって, 中心 $-\alpha$, 半径 $\sqrt{|\alpha|^2 - A}$ の円を表す.

- (2) $z_1 \neq 0, z_2 \neq 0, z_1 \neq z_2$ のとき

3点 $0, z_1, z_2$ が同一直線上にある

$$\iff z_2 = kz_1 \quad (k \text{ は実数}) \iff \frac{z_2}{z_1} = \frac{\bar{z}_2}{\bar{z}_1} = k \quad (k \text{ は実数})$$

$$\iff \frac{z_2}{z_1} = \frac{\bar{z}_2}{\bar{z}_1} \iff z_1\bar{z}_2 - \bar{z}_1z_2 = 0$$

- (3) 点 0 は (★) 上の点であるから $A = 0$

z_1, z_2 は (★) 上の点であるから

$$|z_1|^2 + \bar{\alpha}z_1 + \alpha\bar{z}_1 = 0, \quad |z_2|^2 + \bar{\alpha}z_2 + \alpha\bar{z}_2 = 0$$

上の2式から $\bar{\alpha}$ を消去すると

$$|z_1|^2z_2 - |z_2|^2z_1 - \alpha(z_1\bar{z}_2 - \bar{z}_1z_2) = 0$$

このとき, (2) の結論より, $z_1\bar{z}_2 - \bar{z}_1z_2 \neq 0$ であるから

$$\alpha = \frac{|z_1|^2z_2 - |z_2|^2z_1}{z_1\bar{z}_2 - \bar{z}_1z_2}$$



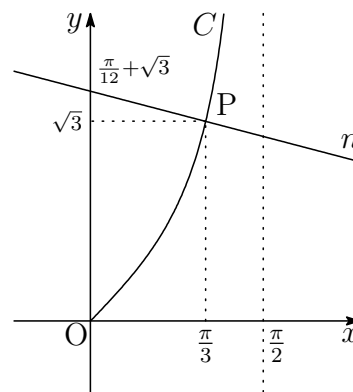
8 (1) $f(x) = \tan x$ とおくと $f'(x) = \frac{1}{\cos^2 x}$

$$f'\left(\frac{\pi}{3}\right) = 4$$

$C: y = f(x)$ 上の点 $P\left(\frac{\pi}{3}, \sqrt{3}\right)$ における
法線 n の方程式は

$$y - \sqrt{3} = -\frac{1}{4}\left(x - \frac{\pi}{3}\right)$$

よって $y = -\frac{1}{4}x + \frac{\pi}{12} + \sqrt{3}$



(2) 求める部分の面積を S とすると

$$\begin{aligned} S &= \frac{1}{2} \cdot \frac{\pi}{3} \left\{ \left(\frac{\pi}{12} + \sqrt{3} \right) + \sqrt{3} \right\} - \int_0^{\frac{\pi}{3}} \tan x \, dx \\ &= \frac{\pi}{6} \left(\frac{\pi}{12} + 2\sqrt{3} \right) + \left[\log \cos x \right]_0^{\frac{\pi}{3}} \\ &= \frac{\pi^2}{72} + \frac{\pi}{\sqrt{3}} - \log 2 \end{aligned}$$

■